



読書週間 広まる親子読書(家読)

感想をありがとうございました

「楽しい時間」、「貴重な時間」、「静かで穏やかな時間」、「ゆったりとした時間」、「癒しの時間」、「母を思い出した時間」・・・親子で読書をする時間について、このようにたくさんの言葉での表現がありました。

昨年も実施しましたので、二番煎じとなり関心が少し薄くなっているのではと心配しましたが、感想を全て読ませていただいて、そんな心配はきれいに消えました。

今回は、お父さんや中学生のお兄ちゃんが見聞かせをしてくださったご家庭もありました。また、「去年は読み聞かせをしたので、今年は子どもに読んでもらった。」というご家庭、さらに、以前に提案させていただいた『リビングの家庭文庫』を作られたご家庭があったりと、昨年より一歩進んだ親子読書になっているようで大変うれしくなりました。

*「久しぶりに読んであげる時間を作れた。」

*「子どもに読んでもらった。成長を感じた。」

*「親子で段落毎(ページ毎)に交換して読んだ。」

など、それぞれのご家庭がそれぞれの形で親子読書を進めてくださっています。

いただいた感想を少しだけ紹介します。

☆「お母さん、図書館に行きたい！」

そんな言葉が息子から出るなんて・・・!

今度は同じ本を読んで楽しみたいです。

☆毎日の宿題で教科書の音読は聴かせてもらっていますが、今日は私に読み聞かせたい本を自分で選んでくれました。私のために読んでくれるということで、聞く側も、『宿題とは違う!、きちんと聞いてあげないと!!』という気持ちになりました。

☆お父さんもアレンジの多い読み聞かせをしてくれて、みんな笑顔になりました。

☆本当は読み聞かせをしてあげたかったのですが、子ども(6年生)に拒否されてしまいました。・・・(。_。)

☆小さい頃によく読んであげていた本を読んでくれました。懐かしさとともにしっかり読めるようになった我が子の成長を感じました。

☆一冊の本をまず子どもが読んで、次に親が読んで聞かせ、最後に一緒に読みました。感想がどんどん深まって、楽しい時間になりました。

☆子が楽しそうに読んでいるのを見て親が、親が真剣に読んでいるのを見て子が、それぞれよい影響を受けながら読書に親しむことができました。

☆本の感想を話す様子が本当に楽しそうで、読書が好きなのだと感じることができました。

こぶとり爺さん
少し太さ
した、小太りで



子どもたちの学校での読書意欲もお陰様で高まっています。ある先生の週プロに次のような反省がありました。

『朝教室に行くと数名しか残っておらず、みんな図書室に行っている。朝の図書室通いが定着した。また、朝の10分読書を楽しんでおり、時間内無言で読書をしている。』

朝の忙しい時間に図書室に行く、本を10分読む、というのは時間管理につながる。そして、借りた図書を大切にすることは物の管理につながる。



賑わう朝の図書室

これらができるということは、学校生活においても大切なことである。何か一つ頑張れば様々な力を身につけることができるということ子どもたちに伝えることができた。』

読み聞かせ講習会について

親子読書の感想の中に、「(子どもが) はっきりした声で強弱をつけ、感情を込めて読んでくれました。こんな風にボランティアさんに読み聞かせをしていただいているのだろうと感じました。」というものがありました。なるほど、子どもたちは、ボランティアさんから上手な読み方を知らないうちに勉強しているのですね。また、「親よりも子どもの方が読み方が上手だと感じました。負けないようにがんばりたいです。」という感想も。

そこで・・・？、これを機会に保護者の皆さまも読み聞かせを勉強してみませんか。ボランティアさんを講師にした「読み聞かせ講習会」を1月下旬頃にPTAの研修として計画中です。

詳細につきましては、後日プリントを配布しますので、ご覧いただきぜひ参加をお願いいたします。

「二宮翁夜話」の暗唱 最終コーナーへ

「小を積んで大を為す」・・・二宮翁夜話の暗唱を全員合格したクラスが、かなり出てきました。2学期末を目標に全児童合格を目指しています。

全員合格を達成した学級担任の反省に次のことが書かれていました。



今週、二宮翁夜話を全員が合格し、クラスみんなで喜び合うことができた。合格していない友だちを責めることなく励ましの声をかけたり、一緒に練習したりする姿が見られた。クラスの目当てである「やさしくみんなで協力するクラス」「元気であきらめないクラス」を一つ実現できたと思う。小さな積み重ねを大切にして学級・学年作りにあたっていきたい。

かけこみお宿訪問

登下校時、またその他の時でも、児童が一時的に避難させていたくご家庭を、本校では「かけこみお宿」という名称で、平成9年度から依頼しています。

毎年PTA役員が「お宿通信」を作成してお届けしてきましたが、最初に依頼した時から年月が過ぎ、お宿のプレートが無くなっていたり、名簿に漏れが見つかったり、さらには子どもたちがお宿の場所を知らなかったりといった問題が出てきました。

そこで、ご挨拶と場所の確認を主な目的に、一斉下校時に「かけこみお宿」訪問を行いました。

突然の訪問に驚かれた様子のご家庭もありましたが、みなさんやさしく子どもたちを迎えてくださいました。

子どもたちに感想を聞くと、
・「『ごくろさま』、『ありがとう』と言ってもらえてうれしかった。」
・「『久しぶりに小学生とお話しをするわ。』と言って喜んでくれた。」
・「昔の睦小のことを話してくれた。」
など、満足そうに話してくれました。

訪問したことで、お宿の方には改めて学校及び児童への関心を高めていただくことができました。また、児童は、地域の方に温かく見守られているという安心感をもつことができました。

不審者対策を主眼にした「お宿」ですが、雷雨・竜巻などの天候悪化時や体調不良のときなどでもお世話になることがあると思います。

現在、PTA役員が正確な登録者名簿作成のための作業を進めています。(お宿を始めた当時の自治会長さんが依頼してくださって、PTAが作成した名簿に登録されていない方がいるようです。)

もし、ご近所にお宿のプレートがある家がありましたら、子どもたちが挨拶に伺ったかどうかを確認していただくと大変助かります。

